

高砂中

希望の桜2本絆を強める



これがイチオシ

ダンスで地域を元気に

高砂中は毎年冬にダンス発表会を開催しています。第1回は震災の翌年3月。当時は体育館も校庭も使えず、体育の授業は市民センターに移動してのダンスでした。発表会も市民センターで行われ、疲労と不安が広がっていた地域の方々にも喜ばれたそうです。

全国からの支援に対し「震災に負けずに頑張っている姿を見せて感謝の気持ちを表そう」という当時の思いは、途絶えることなく受け継がれています。これからもバトンをつなぎ、地域を元気にし続けたいです。

学校名 仙台市立高砂中学校
所在地 仙台市宮城野区白鳥1の32の1
創立 1947年
電話 022(258)0038
校長 猪股 一博
生徒 417人

高砂中学校は仙台市内の中学校で唯一、東日本大震災で津波の直接的な被害を受けました。「高魂」を合言葉にヘド口の撤去など学校や地域の復旧に力を入れたと聞いています。私たちは先輩を見習い、地域を元気にできるよう「元気にあいつつ」「元気に校歌」「何事にも全力投球」を目標にしています。

震災後、大切にしているのは2012年に植樹された2本の長野県の天然記念物「タカトオコヒガンザクラ」です。門外不出でしたが、高砂中

長野の中学校が贈り物

のソメイヨシノが津波で枯れたことを知った長野県伊那市東部中の皆さんが「贈ろう」と長野県議会に相談したそうです。2本は「希望(あかり)」「未来(みち)」と名付けられました。「希望の明かりをともし、未来への道を示す」との願いが込められています。



東部中から寄贈された「希望」

編集委員 永井維音、竹内聖法、中静岳、柴崎友莉、佐藤庸太、遠藤秀真、阿部愛琉、安孫子凜花(2年) 指導教員 亀井佳子

わが校わがまち スクール通信



今回は 東二番丁小(仙台市) 白石中(白石市)

タブレット使って楽しく

進む情報通信技術活用

岩沼小学校には大切にしている校訓があり、す。「正直 親切 勤勉」です。制定されたのは1904(明治37)年。5年後には校訓を歌詞に含めた校歌が作られ、今も歌い継がれています。中でも自信を持って取り組んでいるのは「親切」です。困っている人を見ると、すぐに助けてあげる姿が学校中にあふれています。

「あいさつ運動」や友達の良いところを付せんに書いて張る「いいねコーナー」も学校中に思いやりや親切が生まれるきっかけとなっています。これからの校訓を大切に、新しいことにも挑戦し、みんなで楽しい学校にしていきたいです。



タブレットを使った学習の様子

編集委員 齊藤詩乃、川嶋るい、鈴木絢也香、佐藤弘晃(6年)高橋礼、平間遼、齊藤恵史郎、佐藤昂太(5年) 指導教員 村田志乃、佐山敦子、小野寺奈緒子

岩沼小



これがイチオシ

憩いの場「プラタナス」

岩沼小は1873(明治6)年に開校しました。もうすぐ創立150周年の歴史ある学校です。岩沼市の中心部にあり、学区には竹駒神社や二木の松があります。

校庭のトラックの中には、ひときわ大きな「プラタナス」の木があります。1906(明治39)年に植樹されて以来、岩沼小と子どもたちを見守ってきた木です。子どもたちは周辺で鬼ごっこをしたり、暑い夏は日陰で涼んだり憩いの場所になっています。ぜひ、見に来ていただきたいです。

学校名 岩沼市立岩沼小学校
所在地 岩沼市中央2の1の1
創立 1873年
電話 0223(22)2145
校長 宮本 利浩
児童 532人